

令和元年6月18日

台風期に向け、もしもの堤防決壊を想定した訓練実施 ～堤防決壊時等の緊急対策シミュレーション～

1. 概要

平成30年7月豪雨における倉敷市の小田川決壊、平成27年9月関東東北豪雨における鬼怒川決壊の被害後の堤防緊急復旧状況を踏まえ、雲出川における堤防決壊を想定した対応について、河川管理者（国）と、地元建設業者が参加して机上訓練を行います。

2. 実施内容

- ・実施日時：令和元年6月26日（水） 13:30～17:00
- ・実施場所：三重河川国道事務所 3階会議室
- ・参加者：事務所職員等、地元建設業者（災害協定業者、測量業者等）
- ・内容等：別紙参照

3. 配布先

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ

4. 解禁

指定なし

5. その他

取材時間は14:00～16:00の間を想定しています。

本訓練は、梅雨前線の活動状況（大雨が予想される場合）によっては中止になる場合があります。

6. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所

副所長（河川） 細野 貴司（ほその たかし）

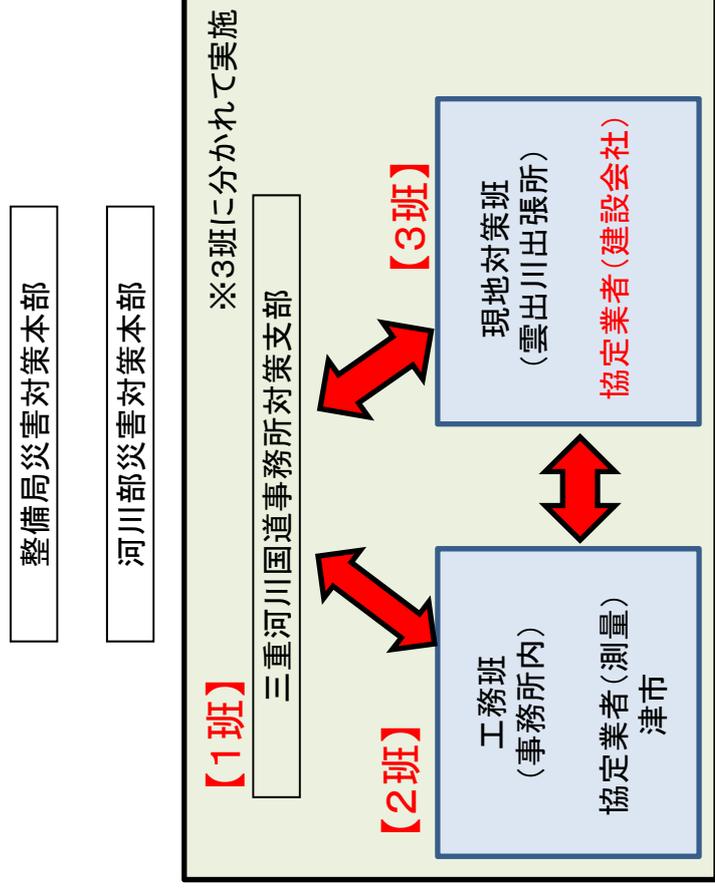
工務第一課長 伊藤 敏弘（いとう としひろ）

電話：059-229-2215 FAX：059-229-2329

- **職員の堤防決壊時における緊急対策技術の向上及び蓄積・伝承を図るため**、平成19年度より、各直轄河川においてシミュレーション訓練を実施。(今回で14回目)
- 三重河川国道事務所では、管内4河川を毎年ローテーションで入れ替え、令和元年度は「**雲出川**」を対象河川として、洪水により堤防決壊したことを想定した上で、**決壊後の復旧方法**について、「堤防決壊時の対応行動マニュアル」に基づいた**机上訓練**を実施。
- 今回の訓練には、三重河川国道事務所、津市、三重県建設業協会、測量業者など、総勢約40～50名程度の参加を得て実施予定。 ※マスコミ取材の可能性有り



昨年度の机上訓練の様子



検討会の班分けイメージ

堤防決壊の想定箇所【雲出川左岸6.2Kp付近】



三重県津市木造地先